

証券知識普及プロジェクト^(注)では、中立・公正な立場から社会人の金融リテラシー向上を目的として、10 月 4 日の「投資の日」を中心に全国各地でセミナー等を実施した。特に平成 26 年度は NISA 元年を記念し、さらなる NISA 利用の普及・啓発を行うとともに、その基礎となる金融リテラシーの重要性を訴えることを全面に出して実施した。その開催実績は以下のとおりである。

(注)「証券知識普及プロジェクト」は、日本証券業協会、日本取引所グループ、東京証券取引所、大阪取引所、名古屋証券取引所、福岡証券取引所、札幌証券取引所、投資信託協会、名証取引参加者協会の証券団体等が参加し、中立・公正な立場から長期的・継続的に証券知識の普及・啓発活動を推進している。

1. 「投資の日」記念イベント

各地区の特色を活かした普及・啓発イベントを、全国 9 地区 19 会場で開催した。

【平成 26 年度「投資の日」記念イベント 開催結果一覧】

地 区	会場数 (会場)	申込者数 (名)	参加者数 (名)
東 京	2	3,351	1,937
大 阪	1	1,330	960
名古屋	4	1,056	739
北海道	2	967	614
東 北	1	345	222
北 陸	3	478	346
中 国	2	553	399
四 国	3	391	304
九 州	1	356	249
合 計	19	8,827	5,770

2. その他の普及・啓発活動

イベント・セミナーの他に、多くの一般市民に証券投資の意義や金融・証券知識習得の重要性について考えていただくきっかけとなることを目的に、以下の活動を行った。

(1) 投資に関する特集記事広告の掲載

日本経済新聞 朝刊 全国版 (10 月 4 日) に金融リテラシーの重要性に関する本協会 稲野会長インタビュー記事と「投資の日」PR を目的として大喜利に見立てた広告を、読売新聞 朝刊 全国版 (10 月 4 日) に同じく大喜利に見立てた広告を掲載した。

(2) 「投資の日」記念イベントに関するリーフレットの作成・配布

「投資の日」記念イベントに関する「どうしく型うちわスタイル」リーフレットを作成し、協会員に対して店頭等での配布方の協力を依頼した。26 年度は 108 社からの申し込みがあり、協会員を通じて広く一般へ 140,800 枚配布した (25 年度 94 社 145,630 枚)。

(3) 「投資の日」記念イベントPRの実施

東京（有楽町、新橋駅）、大阪地区・名古屋地区・北陸地区・中国地区における6会場にて、「投資の日」記念イベント街頭PRを実施した。大阪地区及び名古屋地区にあっては、地区の会員等の協力を得て実施した。

(4) “セリフを考えよう”コンテストの実施

投資に関心の低い層に対する興味・関心の喚起を図るため、人気スマホアプリの「めめたん」と証券知識普及プロジェクトマスコットキャラクター「とうしくん」を用いて、一般の方の参加型企画として、金融リテラシーに関する1コマ又は4コママンガにセリフを入れてもらう“セリフを考えよう”コンテストを実施した。また、優秀賞作品を印刷した特製手ぬぐいを作成し、「投資の日」記念イベント会場にて当日アンケートに回答された方にプレゼントした。（応募件数 531 件）

(5) 「投資の日」記念イベント特設サイト

「投資の日」記念イベントに関する告知・PR及び協会員主催セミナーの案内（18社3,283会場）のため、本協会ホームページに特設サイトを開設した。協会員ホームページにおけるバナー掲載や新聞広告、ネット広告等の各媒体を通じて特設サイトへの誘導を図り、トップページアクセス数は12月末時点で100,362アクセスであった。

(6) NISA コーナーの設置

全国各地のイベント会場（13会場）のロビー等において、NPO法人エイプロシスの証券カウンセラーを配置した「NISA コーナー」を設置し、中立・公正な立場からNISAの制度概要や対象金融商品に関する質問・照会（延べ235件）に応じた。

(7) 事後調査の実施

本イベントの効果測定として、イベント参加者に対し、イベント参加後の投資行動等に関するアンケート調査を実施した(1,974名から回収)。

以 上